

1. 単元名(主題) 「専門的課題研究における各自の研究活動」

～中間計画発表会に向けた発表リハーサルと相互評価～

2. 本時の主題の概要および設定理由

前時までの活動において、生徒は各自の学問系統や興味・関心に基づいて専門的課題研究に取り組み、発表用スライドおよび原稿の準備を進めてきた。本時は、次回の「中間計画発表会」を目前に控え、これまでの探究の進捗と成果を効果的に発信するための実践的なリハーサルを行う。

プレゼンテーションの場においては、単なる原稿の棒読み(視線の固定化)にとどまらず、時間を計測しながらスライド操作のタイミングを確認し、聞き手(聴衆)を意識した視線の配り方や立ち振る舞いを行うことが重要である。これらは、次年度に予定されている外部向け発表での標準的なスキルへとつながる。

また、本時では2～3のチームがペアとなり、相互に発表を聞き合って改善点を伝え合うピアレビュー(相互評価)形式のリハーサルを採用する。これにより、客観的な他者評価を通じて自チームのスライドや説明の不足に気づき、本番に向けた自発的なブラッシュアップを促す。実機投影による立ち位置や操作確認も含め、多様なアプローチから発表の質を最大化するために本主題を設定した。

3. 本時の目標

- 1) **本番を意識したプレゼンテーション技能:**「中間計画発表会」の要項を正確に把握し、スライド操作と原稿の連携、役割分担を意識しながら、聴衆に伝わるリハーサルを行うことができる。
- 2) **建設的な相互評価(ピアレビュー):** 相互発表練習の際、他チームの発表に対して評価基準(ルーブリック)を念頭に置きながら、具体的な改善点や優れた点を客観的かつ建設的に伝えることができる。
- 3) **自律的なブラッシュアップ:** 他チームからのフィードバックやリハーサルでの時間計測結果(過不足)を踏まえ、スライドの内容、文字量、原稿の修正点を洗い出し、本番に向けて調整することができる。

4. 本時の準備・使用教材

- 教員用提示資料: 『SS I 総探-第27回スライド』
- 使用教材(副教材): 『課題研究メソッド 2nd Edition』(岡本 尚也/新興出版社啓林館/2021)
- 生徒用ワークシート: 『探究ノート』
- 共同編集用ファイル: 『研究計画書兼報告書』
『専門的課題研究中間発表スライド』(共有ドライブ内のGoogleスライド原本)
- 教員用管理資料: 『教室別名票』(各教室の担当教員に配布)、『HR別名票』
- 共有用デジタルファイル: 『専門的課題研究チーム編成表』(各教室用シート)
『SS I 分野&担当教員一覧』
- 共通参照資料: 『高1 SS I 学習の手引き』、『課題研究発表ルーブリック』、『スライドチェックリスト』
- 学習支援AI: 『発表スライド作成支援Gem』(Gemini上で動作するスライド評価用カスタムAI)

5. 本時の展開(50分)

時間	学習活動	指導上の留意点・教員の支援
2分	(1) 出席確認と授業環境の確認 - 学問分野ごとに指定された教室に入室し、出席確認を受ける。座席は自由とする。 - 個人端末の準備を整え、Google Classroomから『第27回授業スライド(PDF版)』を表示する。	- ホームルーム別の出席確認を効率的に行う。 - 座席は自由とするが、出欠の不一致がないよう名票と照合する。
2分	(2) 発表会概要および本時の活動内容の理解(復習) - スライドをもとに、次回行われる「中間計画発表会」のタイムテーブル、当日の教室配置、および評価項目(評価ルーブリック)を確認する。 - 本時のリハーサルの手順(発表・計時・相互評価)について理解する。	- 次回の発表会が今年度のSSIにおける最終発表であることを示し、重要性を自覚させる。 - 発表時は原稿をただ読み上げるのではなく、聴衆に目を向けながら説明すること(次年度の外部発表を視野に入れた姿勢)の必要性を強調する。 - リハーサルにおける相互評価の重要性(建設的な観点でお互いに改善点を伝えること)を説明し、理解を促す。 - 各教室の担当教員は、スムーズな進行のためにあらかじめ教室内でリハーサルを行う2～3チームのペア(グループ)を指定する。
45分	(3) リハーサルの実施 (グループワーク・相互発表) 指定されたグループに分かれ、本番同様に時間を計測しながら相互発表練習を行う。 【ステップ】 ① 自チームのスライドを個人用端末で動かしながら、本番と同じ声のトーンで実際に発表を行う。 ② 聞き手側のチームは発表を聞き、『課題研究発表ルーブリック』を意識しながら改善点や好ましい点について建設的にフィードバックを行う。 ③ 役割交代し、同様に計時と相互評価を実施する。 ④ 時間の過不足やフィードバックされた点を踏まえ、原稿やスライドの修正を行う。 【オプション】 希望するチームは、教室内で実際にプロジェクターやホワイトボードにスライドを投影し、立ち位置、視線、スライド操作の役割分担などを確認する。	- 教員は各グループを巡視し、進行状況を把握する。ペア同士で積極的な発言が行われるよう、対話の促進をサポートする。 - 発表時間が不足しているチーム、あるいは制限時間を超過しているチームに対し、スライドの文字量や構成、原稿のカット・追加について具体的に支援を行う。 - 実機投影でのリハーサルを希望するチームが多数ある場合は、1チームあたり約2分程度を目安にするなど全体の調整を行い、すべてのチームが効果的に時間を使えるよう配慮する。 - 当日欠席者が出てしまう可能性も想定して、本番における発表分担の代替案などを確認するよう促す。
1分	(4) 本時の振り返りおよび次回予告 - 本日のリハーサルで得られた気づきや改善点を整理する。 - 次回実施される本番(中間計画発表会)に向けて実施要項をよく確認する。	- リハーサルで気がついたことや聞き手から提案された改善点は、記憶が新しいうちに『探究ノート』等に記録して本番の最終準備に活かすよう指導する。 - 次回の中間計画発表会の成功に向けて、各自のさらなる準備を促し、授業を終了する。